

③ 広く県民等からの支援を受けているものとして、次のア、イのいずれかに該当すること。

ア 実績判定期間において、年間1,000円以上の寄附者が年平均50人以上いること。

イ 実績判定期間において、法人の特定非営利活動に携わったボランティアが年平均50人以上いること。

●アについては、次の算式により求めます。

【算式】

$$\frac{\left[\begin{array}{l} \text{各事業年度中の寄附金の額の総額が} \\ \text{1,000円以上の寄附者の合計人数} \end{array} \right] \times 12}{\text{実績判定期間の月数}} \geq 50 \text{人}$$

〔例1〕事業年度①の寄附者=80人、事業年度②の寄附者=30人 の場合

$$\text{平均寄附者数} = \frac{(80 + 30) \times 12}{24} = 55 \text{人} \geq 50 \text{人} \quad \Rightarrow \text{OK!}$$

〔例2〕事業年度①（設立後6月で終了）の寄附者=20人、事業年度②の寄附者=60人の場合

$$\text{平均寄附者数} = \frac{(20 + 60) \times 12}{6 + 12} \doteq 53.3 \text{人} \geq 50 \text{人} \quad \Rightarrow \text{こちらもOK!}$$

<注意点>

- ・寄附者名簿を確認させていただきます。
- ・寄附者の氏名（法人にあっては、その名称）及び住所が明らかな寄附者のみを数えます。
- ・寄附者本人と生計を一にする方を含めて1人として数えます。
- ・申出をするNPO法人の役員及びその役員と生計を一にする方が寄附者である場合は、寄附者数には含めません。
- ・各事業年度とも、寄附者のうち少なくとも1人は、県民である必要があります。

●イについては、次の算式により求めます。

【算式】

$$\frac{\left[\begin{array}{l} \text{各事業年度中に当該法人の行う特定非営利活動} \\ \text{に携わったボランティアの合計人数} \end{array} \right] \times 12}{\text{実績判定期間の月数}} \geq 50 \text{人}$$

<注意点>

- ・ボランティア活動者名簿を確認させていただきます。
- ・氏名及び住所が明らかなボランティアの方のみを数えます。
- ・ボランティアと生計を一にする方が別にボランティアに参加された場合であっても、ボランティアの人数には含めません。（→あわせて1名として数えます）
- ・申出をするNPO法人の役員、社員及び職員並びにそれらの方と生計を一にする方がボランティアとして参加された場合は、ボランティアの数には含めません。
- ・各事業年度とも、ボランティアのうち少なくとも1人は、県民である必要があります。